

<金標準、4月2日以降の織り込み済み相場に警戒・・・>



(出所：オアシス)

ミシガン大消費者信頼感指数が 92.9 となり、4 年ぶりに低水準へ落ち込みを見せ、IMF は米国経済成長ペースが減速すると予想を示すなど、トランプ大統領の関税政策が悪影響を示す可能性を示している。その状況下でトランプ大統領は、米国の輸入自動車に対する 25% の関税を 4 月 2 日に課すと発表している。また週末には PCE デフレーターは前月比 0.3%、コア前年比で 2.8% となり、個人所得が 0.8%、支出は 0.4% となるなど、米国経済の主な原動力である個人消費に弱さの兆候が表面化したほか、貿易戦争たけなわとなる中でインフレがさらに加速する可能性が懸念されている。そのため逃避需要が大きくなり金スポット価格は史上最高値を更新するなど、地政学的なリスクやマクロ経済の不確実性が高まる状況にあって、中央銀行による買いと安全資産としての需要が価格上昇を後押ししている。特に今週の金標準先物は為替市場の円安の動きも重なり、週末には 15000 円を付けている。ただ 4 月 2 日以降は材料一巡の動きもあり、利食いの動きには注意が必要と思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD の上昇し、シグナルは上昇している。RSI では短期が高値で止まり、長期は上昇している。ただ日足が 10 日移動平均線や 40 日移動平均線から乖離しており、14500 円へ向けた戻りに注意したいと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,090,000 円(2025 年 3 月 31 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2025 年 3 月 31 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>